

※本科目は英語初心者(CEFR-J Pre A1 ～ A1.2)の学習者を対象としています(目安)。

※CEFR-JレベルはBEST受験時に判定されます。適宜受験してください。

2025年秋期新規開講

科目コード**11513**

授業科目名	担当教員名	履修区分	配当年次	開講期	単位	DP対応
ビジネス英語入門	豊田 春賀	G:選必 D:選必	1	春秋	2	6
科目概要						
英語で会話をしている最中に、正しく簡単な文を素早く作ることに苦手意識がある方を対象としています。ベストセラーの『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。改訂版』で扱われている基礎文法の知識をおさらいし、それらを活用してビジネス英会話の英作文を練習します。併せて、モデル音声を聞きながら模範解答のダイアログの音読練習をし、学習した表現の定着を図ります。会話力を伸ばすには耳から入ってくる音の情報である「インプット」が必須と言われており、インプット量を増やすことで英語力の底上げとリスニング力の向上も目指します。						

	必須	推奨
事前学習科目		英会話入門
事後学習科目		Business English Strategies Lv1-4 Basic English Training

学びの目的とゴール
対象学習者: 本科目は、英語初心者レベル(CEFR-J: Pre A1～A1.2)の学習者を対象としています。3語程度の簡単な文を会話の最中にぱっと作ることに苦手意識がある学習者に履修を推奨します。 目的:ビジネス英語力の基礎作り 1. 基礎的なビジネス英会話に必要な文法・表現を身に付ける 2. ビジネスの場面に応用できる英語構文力を養う 3. 英語力の底上げ・リスニング力アップを図る (備考) 履修登録の前にBEST(Business English Speaking Test)を受験し、判定されたCEFR-Jが上記のレベルに該当する場合は本科目の履修を推奨します。※各レベルのCan-Do(できること)リストはこちらを参照してください。

評価の観点	評価割合	評価の方法
課題	40%	課題の要件を満たしているかに基づき評価
演習	30%	課題の内容の応用・定着を測ったかを受講認証に基づき評価
試験	30%	課題内容の定着を正誤で評価
Extra	5%	加点課題の取り組みで評価

担当教員からのフィードバック方法

AirCampusでのコメント(随時)、課題・試験などの講評

教科書	山田暢彦著『中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。改訂版』学研
参考図書	佐藤洋一著『最速でできる1年目になる英会話フレーズ』ナツメ社

教員紹介

豊田 春賀 講師

上智大学外国語学部 英語学科 卒業、上智大学大学院外国語学研究科 言語科学専攻修了、修士号(言語学)取得。

2010年より9年にわたり大学・専門学校にて英語講師として勤務。第二言語習得理論・英語教授法の知識をもとに、効果的な指導法で学生に英語を指導。スピーキング・発音指導に強い。2019年4月より英語コーチングスクールに勤務し、英語の学習法・ビジネス英会話の指導を行う。その後、本部にて講師 研修・商品企画・教材作成等を担当。2022年7月に株式会社Aoba-BBTに入社し、英語学習関連プログラムの企画を担当。

回数	学習内容 / Content	学習課題 / Tasks
1	オリエンテーション	
2	テキスト Chapter 1・2	英作文課題と音読: Week 1
3	テキスト Chapter 3・4	英作文課題と音読: Week 2
4	テキスト Chapter 5・6	英作文課題と音読: Week 3
5	テキスト Chapter 7・8	英作文課題と音読: Week 4
6	テキスト Chapter 9・10	英作文課題と音読: Week 5
7	テキスト Chapter 11・12	英作文課題と音読: Week 6
8	テキスト Chapter 12・13	英作文課題と音読: Week 7
9	テキスト Chapter 14・15	英作文課題と音読: Week 8
10	テキスト Chapter 16・17	英作文課題と音読: Week 9
11	テキスト Chapter 18・19	英作文課題と音読: Week 10
12	テキスト Chapter 20・21	英作文課題と音読: Week 11

※開講や課題出題のスケジュールは、別途配布している配信スケジュールを確認してください。

受講上の注意

受講上の注意

- ・本科目は、選択必修科目「英語群」です。
 - ・すべての講義を視聴して視聴認証を取得すること。
 - ・上記の活動(課題・演習・試験)への参加はすべて成績評価の対象とする。
- ※単位認定には、顔認証による本人確認が必要です。